



# 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社紀文食品

上場取引所 東

コード番号 2933 URL <https://www.kibun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員グループ統括室長 (氏名) 上野 勝

TEL 03-6891-2600

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	47,693	1.9	45		46		639	
2023年3月期第2四半期	46,788	10.0	786		749		1,332	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 170百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 867百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	28.02	
2023年3月期第2四半期	58.37	

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	67,349		13,272		19.2	
2023年3月期	63,750		13,839		21.2	

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,956百万円 2023年3月期 13,500百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		16.00	16.00
2024年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,963	1.2	3,707	83.3	3,159	79.4	1,903	330.1	83.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	22,829,781 株	2023年3月期	22,829,781 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	61 株	2023年3月期	20 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	22,829,747 株	2023年3月期2Q	22,829,761 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益又は 営業損失(△)	経常損失(△)	親会社株主に帰属 する四半期純損失 (△)
2024年3月期第2四半期連結累計期間	47,693	45	△46	△639
2023年3月期第2四半期連結累計期間	46,788	△786	△749	△1,332

当第2四半期連結累計期間は、行動制限解除に伴う人流増やインバウンド需要の復活などにより景気は緩やかな回復傾向がみられる一方、物価上昇により消費者の節約志向が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下において当社グループでは、2021年4月よりスタートした中期経営計画において収益性向上と財務体質改善による『持続的成長サイクルの確立』を目指した取組みを推進し、企業価値の更なる向上に努めてまいりました。また、経営の透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行うための仕組みを構築することを重要な課題と位置づけ、当社グループの持続的な成長と社会課題の解決を軸としたESG課題への対応や、コーポレート・ガバナンスの充実に継続して取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は47,693百万円と前年同期比904百万円の増収(1.9%増)となりました。営業利益は45百万円と前年同期比832百万円の増益、経常損失は46百万円と前年同期比703百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は639百万円と前年同期比693百万円の増益となりました。

なお、当社グループの売上高・営業利益は、主力商品である水産練り製品・惣菜が冬季におでん・鍋物等に向けての需要が高まることと、12月におせち料理関連商品の売上が集中するため、第3四半期に偏重する傾向にあります。前期及び当期における当社グループの各四半期における売上高及び通期の売上高に対する割合、営業利益又は営業損失(△)は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2023年3月期 前連結会計年度				2024年3月期 当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高 (通期割合)	22,848 (21.6%)	23,940 (22.7%)	34,982 (33.1%)	23,921 (22.6%)	23,699 (22.2%)	23,993 (22.4%)	—	—
営業利益又は 営業損失(△)	△70	△715	2,371	437	101	△56	—	—

(注) 当連結会計年度の売上高の通期割合については、通期業績予想に対する割合を記載しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(国内食品事業)

国内食品事業では、国内において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、主力の水産練り製品が前年同期比で大幅な増となりました。なかでもカニカマは近年、高たんぱくなヘルシーさが着目され市場拡大が続いており、当社も主力商品「したらば」を中心に大きく売上を伸ばしました。また、食シーンの提案やSNSを活用したプロモーションなどが奏功し竹輪やはんぺん、さつま揚など他の水産練り製品も前年同期を超える売上となりました。さらに当社独自の製法を用いたキャラクター蒲鉾「すみっコぐらしかまぼこ」や「シナモロール ポムポムプリンかまぼこ」が、若い世代のお客様から支持を得て販売を伸ばしました。一方で、競争環境の厳しい中華惣菜や麺状商品の売上が減少しました。また鶏卵の供給不足に伴い、レトルトおでんセットや玉子加工商品に影響が出ましたが、徐々に鶏卵の調達状況は改善しています。商事部門は、引き続き農畜産品などの取扱い商材が伸張し好調に推移しております。

利益面では、資材やエネルギーなどのコストは依然として高い水準にあるものの、価格改定の浸透と主原料のすり身価格が落ち着きを取り戻したことで、増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は32,686百万円と前年同期比1,454百万円の増収(4.7%増)となり、セグメント損失は670百万円と前年同期比1,034百万円の増益となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 損失(△)	売上高	セグメント 損失(△)
第2四半期連結累計期間	31,231	△1,704	32,686	△670

(海外食品事業)

海外食品事業では、海外において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、タイ国内向けは営業活動強化により回復基調にあるものの、他のアジア圏、中国、米国の各国市場ではインフレ懸念や先行き景況感の悪化見通しなどにより、消費者の生活必需品を優先する節約志向が強まり、主力商品であるカニカマやHealthy Noodle(糖質0g麺)の販売が前年同期比で減少しました。

利益面では、惣菜・農水産物などの仕入商材は堅調に推移したものの、自社製品の売上減の影響が大きく、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,991百万円と前年同期比907百万円の減収(13.1%減)となり、セグメント利益は366百万円と前年同期比424百万円の減益(53.6%減)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 利益	売上高	セグメント 利益
第2四半期連結累計期間	6,898	790	5,991	366

(食品関連事業)

食品関連事業では、国内において食品の運送、その他食品に関連した事業を行っております。

売上面では、当事業セグメントの中心である物流事業において、経済活動の回復に伴い、外食店舗や百貨店、駅ビル、観光地に向けた物量が大きく復調したことに加え、新規顧客の獲得により伸長しました。また料金改定も増収に寄与しました。

利益面でも、2024年問題への対応と諸々のコスト増や電力費の上昇などがマイナス要因としてある一方、売上増分と連動して利益額、利益率ともに確実に獲得しており、対前年同期を上回る実績となりました。

この結果、当セグメントの売上高は9,015百万円と前年同期比357百万円の増収(4.1%増)となり、セグメント利益は255百万円と前年同期比46百万円の増収(22.4%増)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 利益	売上高	セグメント 利益
第2四半期連結累計期間	8,658	209	9,015	255

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は67,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,598百万円増加しました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,076百万円増加し、31,042百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が1,856百万円増加、年末に向けた生産により仕掛品が772百万円増加、主原料の調達により原材料及び貯蔵品が515百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ521百万円増加し、36,307百万円となりました。これは主に退職給付に係る資産が501百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は54,077百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,165百万円増加しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4,129百万円増加し、29,510百万円となりました。これは主に主原料等の調達増加により支払手形及び買掛金が1,979百万円増加、運転資金の調達により短期借入金が1,617百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し、24,566百万円となりました。これは主に資金の調達により社債が457百万円増加した一方、固定負債の「その他」に含まれる長期未払金が330百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は13,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ566百万円減少しました。これは主に利益剰余金が1,004百万円減少した一方、為替換算調整勘定が382百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は19.2%（前連結会計年度末は21.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績につきましては、引き続き国内食品事業及び食品関連事業では秋冬期の需要の高まりを捉え収益拡大に取組み、海外食品事業ではマクロ経済の動向や地政学リスクによる影響度を注視しつつ業績の回復に努めてまいります。当社グループの売上高及び営業利益以下の各段階利益は第3四半期に集中する傾向があるため、現時点では2023年5月12日に公表しました連結業績予想から変更はありませんが、今後、修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,436,670	6,279,591
受取手形、売掛金及び契約資産	10,224,422	12,080,961
商品及び製品	5,888,103	5,657,379
仕掛品	230,894	1,003,179
原材料及び貯蔵品	4,350,694	4,866,622
その他	843,518	1,164,421
貸倒引当金	△9,058	△10,024
流動資産合計	27,965,245	31,042,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,557,224	5,460,568
機械装置及び運搬具(純額)	1,952,666	2,032,826
土地	5,846,544	5,860,575
その他(純額)	3,830,582	3,823,339
有形固定資産合計	17,187,018	17,177,309
無形固定資産	577,128	473,922
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000,182	2,153,788
退職給付に係る資産	14,722,765	15,224,247
繰延税金資産	119,544	154,094
その他	1,180,477	1,126,160
貸倒引当金	△1,678	△2,173
投資その他の資産合計	18,021,290	18,656,116
固定資産合計	35,785,437	36,307,349
資産合計	63,750,682	67,349,481

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,397,205	10,376,341
短期借入金	4,318,848	5,936,342
1年内償還予定の社債	792,760	914,160
1年内返済予定の長期借入金	5,433,930	5,474,068
未払法人税等	369,020	314,405
賞与引当金	810,210	1,084,458
その他	5,259,082	5,410,635
流動負債合計	25,381,057	29,510,411
固定負債		
社債	2,285,860	2,743,080
長期借入金	13,429,553	13,221,356
繰延税金負債	4,497,667	4,681,731
退職給付に係る負債	197,029	216,283
資産除去債務	310,192	310,116
その他	3,810,232	3,394,031
固定負債合計	24,530,534	24,566,599
負債合計	49,911,591	54,077,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,368,788	6,368,788
資本剰余金	1,942,988	1,942,988
利益剰余金	5,258,767	4,253,902
自己株式	△33	△77
株主資本合計	13,570,510	12,565,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,554	283,395
繰延ヘッジ損益	△24,067	41,319
為替換算調整勘定	△85,494	297,152
退職給付に係る調整累計額	△154,056	△231,011
その他の包括利益累計額合計	△70,063	390,855
非支配株主持分	338,642	316,011
純資産合計	13,839,090	13,272,469
負債純資産合計	63,750,682	67,349,481



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	46,788,297	47,693,030
売上原価	38,017,889	38,256,793
売上総利益	8,770,407	9,436,237
販売費及び一般管理費	9,557,020	9,390,544
営業利益又は営業損失(△)	△786,612	45,693
営業外収益		
受取利息	1,057	1,296
受取配当金	21,804	21,419
持分法による投資利益	37,693	51,574
為替差益	250,256	125,546
その他	24,460	25,660
営業外収益合計	335,272	225,497
営業外費用		
支払利息	270,215	271,431
その他	28,372	46,047
営業外費用合計	298,588	317,479
経常損失(△)	△749,928	△46,288
特別利益		
固定資産売却益	—	496
特別利益合計	—	496
特別損失		
固定資産除売却損	3,806	44,817
投資有価証券評価損	63,564	—
減損損失	51,534	130,092
特別損失合計	118,905	174,909
税金等調整前四半期純損失(△)	△868,833	△220,702
法人税、住民税及び事業税	334,589	300,768
法人税等調整額	114,263	109,345
法人税等合計	448,852	410,114
四半期純損失(△)	△1,317,686	△630,816
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,978	8,772
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,332,664	△639,588

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,317,686	△630,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,956	89,650
繰延ヘッジ損益	38,346	65,386
為替換算調整勘定	606,918	370,989
退職給付に係る調整額	△213,661	△77,798
持分法適用会社に対する持分相当額	14,317	12,362
その他の包括利益合計	449,877	460,590
四半期包括利益	△867,809	△170,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△878,429	△178,669
非支配株主に係る四半期包括利益	10,620	8,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	31,231,378	6,898,797	8,658,121	46,788,297	—	46,788,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,513,453	2,472,352	2,836,242	6,822,048	△6,822,048	—
計	32,744,831	9,371,149	11,494,364	53,610,345	△6,822,048	46,788,297
セグメント利益又は損失(△)	△1,704,772	790,605	209,031	△705,135	△81,477	△786,612

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△81,477千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、51,534千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	32,686,140	5,991,737	9,015,152	47,693,030	—	47,693,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	883,502	2,474,744	2,891,636	6,249,883	△6,249,883	—
計	33,569,643	8,466,481	11,906,789	53,942,914	△6,249,883	47,693,030
セグメント利益又は損失(△)	△670,244	366,487	255,892	△47,864	93,557	45,693

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額93,557千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」及び「食品関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、「国内食品事業」34,770千円、「食品関連事業」95,322千円であります。